

人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	立位脊柱アライメント、腰椎変性疾患、および健康関連 QOL との関係
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	亀田第一病院にて 2014 年 1 月から 2022 年 6 月までに再構築性単純 X 線画像(ステレオス)で撮影された患者さんのうち、事前に診療記録の研究利用に対して拒否の意思を示していない患者を対象とします。
③ 概要	腰痛は成人期以降の日常生活を障害する大きな要因です。腰痛の原因は多岐にわたりますが予防につながる病態の解明は道半ばです。腰痛を起こす代表的疾患として、椎間板ヘルニア、変性すべり症、脊柱管狭窄症があります。これら変性疾患は成壮年期の社会生活に大きな影響を与えるので、その原因解明と予防対策が急がれています。近年、腰椎変性疾患の発生頻度や部位は、立位でのせぼねの形(アライメント)との間に何らかの関係があることがわかってきました。脊椎アライメントと腰椎変性疾患との関係が明らかになれば、腰椎疾患になりやすい方々がわかります。そうすれば、これらの方々に対して、予防的対策が可能となり、ひいては腰痛疾患を減少させることが出来るかもしれません。
④申請番号	
④ 研究の目的・意義	本研究の目的は、ステレオスを用いた立位脊柱アライメント計測、同時期に撮影した MRI による腰椎変性疾患の詳細を確認、さらに健康関連問 k-とを調査し、これらの関係を明らかにすることです。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	亀田第一病院の電子カルテに保存されている患者基本情報、画像検査結果、症状に関するアンケート情報を利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	患者基本情報（年齢、性別、体格、診断）、画像検査結果、健康関連 QOL 調査結果
⑨利用する者の範囲	亀田第一病院 長谷川和宏、初鹿野 駿 新潟大学 整形外科 大橋正幸、渡辺 慶
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	亀田第一病院 新潟脊椎外科センター長 長谷川和宏
⑪お問い合わせ先	所属：新潟脊椎外科センター 氏名：長谷川 和宏 Tel：025-382-3111 E-mail：soumu@ijn.or.jp

※オプトアウト書式は、ホームページに掲載いたします。